

令和元年度 項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

キャリア教育・職業教育と人間性の涵養に努め、一人一人の自立を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

自立した人間性を育成し意識の向上につとめ、自らの考えを提案できる機会を作り自主性を高められるよう、取り組みを行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 創学の精神「自立」と「清く・正しく・美しく」の教育理念は実行されているか	4	3	2	1
・ 職業とキャリアを重視した教育がなされているか	4	3	2	1
・ 専修学校が社会に於ける役割を認識しニーズに応える学校づくりに努めているか	4	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・ 専門教科に重点を置き、併せて一般教科・特別教育活動をして専門業界の即戦力となる人材の育成に努めているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果として、昨年度に引き続き参加したきものサローネin日本橋、新規としてYSE株式会社のユニフォームデザイン、株式会社国際情報ネットのAIロボット保護のための衣装制作などが挙げられる。特殊な素材やデザイン等に臨むことにより、専門的かつ実践的、また応用力を求められる取り組みとなった。

課題としては、在校生アンケートの結果を鑑み、学生本人の「自分の適性」「将来のキャリア形成」への意識がある。これらは昨年度も同様に課題となっている部分である。

② 今後の改善方策

今年度は昨年度の改善方策を取り入れ、キャリア教育として「自己分析」「適性判断」を実施し、学生達に自分の性格の特性や長短などを見出させた。来年度の改善方策としては、より深い「自分の適性」の掘り下げと、「キャリア形成計画」を立てさせることが挙げられている。それに向けた様々なツールの模索、取り入れ、活用を図っていく。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 校務分掌役割の確認と責任の遂行はなされているか	4	3	2	1
・ 事業計画を綿密に立て、共通理解で運営されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は毎朝の職員会議等で諮られて納得して十分機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会と密接な信頼関係が確立されているか	4	3	2	1

・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
----------------------------	---	---	---	---

① 成果と課題

成果として、事業計画と年間スケジュールの遂行が挙げられる。ただし同じく課題として、事業計画、更に校務分掌の遂行がある。

今年度は外部依頼などに積極的に参加する一方で、昨年10月の台風被害、今年2～3月にかけてのコロナウイルスの流行があった。公共交通機関の停止・遅延などによる通学への影響や、ウイルス対策による外出の自粛など、やむを得ない事態にはスケジュールの調整を経て対応した。また、校務分掌の遂行についてはやや滞った部分があった。運営組織や意思決定機能についても、職員会議等で十二分に相互理解のもと進行されていたとは言い難い部分があった。

② 今後の改善方策

改善の方法として、まず天災による事業計画・年間スケジュールへの影響については、天災時の十分な情報収集と情報の共有、学生各個人の状況に合わせた柔軟な対応に取り組んでいく。またそういったときのためのマニュアルの作成・共有など。次に、校務分掌については、校務分掌の役割の明確化と、係の仕事の具体的な内容の計画立案と実行、各種校務の効率化などの改善方策が挙げられている。意思決定に関しても、朝の職員会議のみでは不足と思われる場合、放課後などに時間を決めて行うようにすることで、相互理解を深める努力をする。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・ 業界のニーズに十分応えるレベルに到達する教育と時間の配分が明確にされているか	4	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携事業）は体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・ 授業評価・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・ 人材育成目標達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果として、昨年度課題となっていた「人材育成目標達成に向けた要件を備えた教員の確保」に対しての改善と解消がある。適宜教職員研修を行い、指導力の向上や、各自の知識・技量の増進を図ることが出来た。

課題としては、前項でもあったように天災時の対応である。学科のカリキュラムが体系的に編成されているため、天災による影響で進行に遅延が出た場合、適宜対応を行っていたが、更に適切な

対処が見込まれる部分があった。

② 今後の改善方策

天災における公共交通機関の停止・遅延、コロナウイルスによる外出への不安など、くむべき事情は十分に加味した上で、カリキュラムの遅延に対しては適宜対処を行っていく。やむを得ない欠席の場合でも、カリキュラムを終わらせることを前提としているため、影響のあるうちは教員と綿密な連絡・連携を取りながら自宅学習をする、あるいは影響のない時期に補習をすることなどが挙げられる。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍や卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 成果と課題

まず成果として、就職率、退学率の大幅な改善が認められたことが挙げられる。昨年度に比べ就職率の割合が上昇し、退学率の割合は減少している。学生との面談を適時行い、サポート体制が充実したことによって改善したと思われる。

しかし課題としても、やはり今後の退学率の低減が求められている。家庭の事情等やむを得ない場合もあるが、まだ見込む余地がある場合は対策を行っていく。また、資格取得率についても改善点がある。

② 今後の改善方策

改善方策として、退学率の低減に関しては、更なる学生や保護者との面談が挙げられている。退学の事由がそれぞれに異なること、学校でサポートを行える場合と外部にサポートを委ねる場合を慎重に見極め、状況把握と改善に努める。

資格取得率については、在学生アンケートの結果から鑑みるに、学生本人の意欲面に働きかける必要がある。アンケートの回答上で、積極的に資格取得を行っていない学生の存在がある。資格は自分の持つ知識・技術を公的機関から保証されるものであるため、資格の必要性・重要性を認知させ、取得していない資格に対して取り組んでいく姿勢の増進を試みる。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する指導・支援は行われているか	4	3	2	1
・ 学生相談に関する体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1

・ 保護者会と適切に連携しているか	4	3	2	1
・ 卒業生へのニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 中学・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、「自己分析」「求人情報の解析」を系統だてて講じたことがある。また求人情報のファイリングシステムを見直し、学生が閲覧しやすいように改善した。

課題として、在校生アンケートからの意見の汲み取りにより、進路・就職に関する指導・支援の充実度が挙げられた。就職活動に於ける不安の解消がやや不十分であったと考えられる。

② 今後の改善方策

改善方策としては、就職活動をするにあたってどの学生も大なり小なり不安があるのを前提として、その不安の軽減に努めるため、個別の面談の増加が挙げられている。また、現代の就活状況を捉え、「キャリア形成計画」を立てさせ、就職活動の準備や手順などをあらかじめ認知させておくことによって、学生本人の意欲と主体性の育成を図り、不安の解消に努める。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果として、インターンシップや研修等について、十二分に整った教育体制の提携がある。

アンケート等の結果を鑑みるに、学生、保護者とも、両面に於いて多少なりとも不安を感じたようである。天災には適時話し合いを行い、対応していた。

② 今後の改善方策

改善方策としては、今年度は天災が相次いだ年でもあったため、家庭・本人との連絡を密にし、適時適切な指示を出すことで不安を取り除くことに努める。また校内の設備・備品なども定期的に点検しているが、更に適宜見直しや修理、保全を行っていく。加えて、世情を鑑みて遠隔授業等も視野に入れ、設備・機器の導入と授業計画を行っていく。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が積極的に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報や教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1

・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
-------------------	---	---	---	---

① 成果と課題

成果として、リクルートスタディサプリを継続していることにより、昨年度より大幅な資料請求の向上があった。比例してオープンスクールへの参加者も増え、中には2、3回参加する高校生の姿も見受けられた。ただし頼りすぎることなく、次年度から他の対策も考えて実践していきたい。

課題としては、入学生数の伸び悩みである。現状として昨年度と同数の入学予定者数に留まっている。

② 今後の改善方策

昨年度と比較して、外部からの入学希望者が増加している部分は引き続き増強していくべき面である。これに関しては各々が知り合いや親戚などに本校の卒業生がいることが大きい。今後の方策としては、口コミに加え、来校したとき進学を決める決め手となる説明を十分にしていく。またリクルートでの新規ツールの導入を予定しているため、今まで以上に本校の魅力発信や学校生活の充実度を伝え、入学生獲得に向けて大いに活用していく。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 成果と課題

事業内容等も含めた財務情報について最新の情報公開を行う。

② 今後の改善方策

解り易い財務の情報公開を行い、安心して入学、学修する資料とする。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行い、自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 成果と課題

自己評価等の実施を積極的に行い、改善点を明確にしていく

② 今後の改善方策

自己評価結果に基づいて、改善し最新の情報公開を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学友会のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果として、地域に対する公開講座の一環として、小学校・中学校に向けた出前講座などを実施し、教育内容の周知に努めた。清掃活動を行い、地域社会の美化を行った。

② 今後の改善方策

今後の改善点としては、カリキュラムの進行に障らない日程の調整が挙げられる。

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 留学生の受け入れ・派遣に積極的に取り組んでいるか	4	3	2	1

① 成果と課題

課題として、留学生の受け入れ、また留学生としての派遣が今年度なかったことが挙げられる。

② 今後の改善方策

積極的に英語など多言語での情報発信に取り組み、留学生の受け入れのみならず、留学生としての派遣などを行っていく。また、留学の目的をしっかりとって経済的にも不安なく学べる人材を受け入れる努力をしたい。